

(第3種郵便物認可)

申部

◇名古屋支局◇
名古屋市中村区
那古野1-38-1
星光楼ビル5階
☎052(566)2290
FAX052(566)2291

熱絶縁工事会社の浅野保温(本社・愛知県扶桑町、浅野朋幸社長)は、本社敷地内にカ

グラーパーパーテック(本社・尼崎市、玉井健一社長)製の簡易オートガススタンド・オートコンポを導入した。社用車のLPGガス燃焼を進め、固定費削減とBCP強化に役立てる。発電機や岩谷産業の炊き出しセット「デリバリーステーション」も導入し、扶桑町の指定避難所としての活用も視野に入れる。

浅野保温

経営力と災対力強靱化

簡易オート「オートコンポ」導入

愛知県内では足元の数年で、一般企業がLPG車とオートコンポをセッ

トで導入する事例が相次いでおり、浅野保温で3

例目。いずれも企業と地域の課題を同時解決できる仕組みであることが導入の決め手となった。

浅野保温は2013年6月、14年1月にLPG車を導入。それぞれ17万

は、中小企業庁の「経営力向上計画」認定に伴う税制特典や、今年度の災

害バルク補助を活用し

た。また、地元・扶桑町危機管理課と、民間企業

い、卸会社の名古屋プロパン瓦斯(本社・名古屋

式で浅野社長は「燃料費削減とBCP強化、地域貢献を同時にできる取り組みで、なぜこのモデルが普及しないのか不思議なくらい。今後は扶桑町と協定締結を視野に連携し、クルマだけでなくGHPの導入も進めていく。LPGガスをフル活用し、地域に貢献していきたい」と力を込めた。

小川哲生・小川石油社長は「個別の経済効果だけでなく、地域貢献にLPGガスを活用しようという姿勢に感銘を受けた。LPGガス業界内では、なかなか見られなかった取り組みだが、これをきっかけに広く取り組みを知っていただければ」と期待を寄せた。

左から浅野社長、犬飼主事、小川社長、玉井社長

